

No. 133

43. 10. 5 発行

発行人
佐呂間町長 船木長一郎

編集人
総務課 広報係

印刷
佐呂間印刷



連続豊作に

うれしさ
いっぱい

夢が次から次へと広がっていく季節でもある

10

人の動き

世帯数 2,845

人口 11,510

男 5,671

女 5,839

9月末住民登録人口

青くすみきった青空のもと、どこの畑でもいま盛んに収穫が行なわれている。二年続きの豊作半歳の苦労が漸く実を結ぼうとしている。「50俵はあるだろう」という、いもの撰別の手も忙しい。とりいれをする喜びにさわやかな秋風がこちよい、やがて収益の還元があり、それから予定を立てて必需品の購入と、農家の夢は次から次へと広がっていく楽しい季節でもある。

総合開発に逆行する

湧網線廃止に

湧網線ほか四線廃止反対

総決大会開かれる

この大会は、九月四日国鉄諮問委員会が、国鉄総裁に対し、国鉄赤字線の廃止を答申し、管内五線区（湧網線、相生線、渚滑線、興浜南線、根北線）が廃止されようとしている。これは管内総合開発に逆行するのみならず、沿線地域住民の福祉に重大なる影響を及ぼすもので、管内住民の総意を結集して既設路線廃止に断乎反対をすること、九月二十二日管内町村から一千名の参加者を集めて、網走市民会館で行なわれました。

国鉄諮問委員会の答申概要

赤字線整理問題について、国鉄当局より意見を求められていた国鉄諮問委員会の赤字線対策小委員会は、昭和四十三年六月二十一日原案をまとめたが、これが正式発表によらず一部の新聞に発表されました。

国鉄諮問委員会は、

絶対反対

うち黒字線 一四線区

赤字線 二二八線区
一七、四三三軒

全線二四二線区について

(1) いわゆるローカル線区の大半が人口過疎化、産業構造の変化、自動車網の発達などで輸送量は年々減少、そのため施設が過剰の傾向を示し、国民経済的にみてマイナスで、また国鉄経営にとっても大きな負担になっている。

(2) 鉄道も自動車のコストを同条件で計算すると、一日一戸当りの輸送量が、旅客一万五千人、貨物で二千屯以上は国鉄の方がコスト安になり、それ以下は自動車の方がコスト安になっている。この基準で、鉄道輸送分野八八線区一三、四〇〇K、自動車輸送分野一五四線区七、四〇〇Kと、一応の結論を出したが、更に自動車輸送分野の一五四線区七四〇〇Kについて

(1) 沿線人口（本線との接続駅周辺を除く）が少なくない。

(2) その人口が減少している。

(3) 全体の鉄道網からみて、その線

区の果している役割はどうか。

(2) 旅客輸送量がトラック輸送にたえられるか（一日発着六〇〇屯以下）

(3) 輸送量の伸びが、対抗機関より下廻っているか。

(4) 営業距離は、一〇〇K以内か。

(5) 冬の積雪状況を含め道路事情はどうか。

の九項目の基準により再検討した結果、七一線区四、八〇〇Kは当分の間、鉄道輸送分野に加えることとした。

◎廃止路線

八三線区、二、五九〇、六K

◎赤字廃止線の状況

全国 線区 キロ数

北海道 一五線区 八〇八、四軒

東北 一二 四一四、一

新潟 四 六五、四

関東 三 八九、三

中部 五 二〇六、一

関西 七 一二三、八

中国 八 一九二、三

四国 七 一二五、〇

九州 二二 五六六、二

計 八三 二、五九〇、六

(参考)
廃止路線の割合

全国 線区 キロ数

全線区 二四二線区 二、七六五、〇軒

廃止線区 八三 二、五九〇、六

割合 三四、三%、一二、五%

◎北海道

全線区三七線区三、九七八、〇軒

廃止線区一五 八〇八、四

割合 四〇、五% 二〇、三%

◎網走支庁管内

全線区九線区 五四八、八軒

廃止線区五 一九三、六

割合 五五、五% 三五、三%

固定資産評価

審査委員に

浜佐呂間

齊藤 公男

再選

教育委員会委員に

浜佐呂間 大沢 昌司

武 士 青 木 与 雄

再選

住民係の窓口一本で

諸届がすみす

住民基本台帳に変わる

今回の法律で公布された住民基本台帳は、住民の日常生活の利便を図り、行政事務の基礎台帳となるので台帳はこの程作成を完了して九月一日より使用しております。この内容を簡単に説明します。

◎従来の住民票は廃止されました

◎従来の各種届出を廃止し、住民異動届一本に集約した。

従って、国民健康保険、国民年金被保険者取得喪失届、主食配給、転入転出届、学童生徒住所変更（四十四年四月一日より施行）、選挙人名簿の取極登録（四十四年四月一日より施行）、町税の課税（四十五年一月一日より施行）等が一回の届出で、全部すまされます。

昭和43年6月分療養諸費 費用負担区分の状況

種 別	費用 額	町 負 担	被保険者負担	公費負担
療養の給付	7,494,843円	5,204,612円	2,230,547円	59,684円
療 養 費	20,652	15,219	5,433	
計	7,515,495	5,219,831	2,235,980	59,684

昭和43年6月分療養の給付(診療費)内訳

種 別	件数	日数	費用 額	受診率	1件当日 1日当り	1件当り 費用 額
入 院	126	1,846	3,374,613	1.70	14.7	26,783
入 院 外	1,360	4,709	3,495,876	18.37	3.5	2,570
歯 科	313	1,168	604,425	4.23	3.7	1,931
合 計	1,799	7,723	7,474,914	24.30	4.3	4,155

秋晴れのよい天気恵まれ、また行楽の季節になりましたが、それと同時に車を利用する機会が多くなって来ております。

時代の移り変わりと共に車、車で女性ドライバーも大巾に進出して来ており車は正に時代の寵児である。

いま免許証をとるのに地元教習所があり便利になって来ており、年々取得者があふれている。それ丈に一般的には、技術的にまだまだという感がなきにしもあらず……。

しかし免許証を取ったら乗りたくなるのは人情、いま佐呂間でも二軒に一台の割で車があり、また運転免許者も町内に一五〇〇人以上もいます。

昨今、報道される交通事故故、いまや交通戦争の真只中に入っています。

最近の統計によると北海道では十八分弱に一件の割合で交通事故が発生しており、また被害者の数も当町の人口の四倍にもなろうとしています。

ここで車を運転するものとして考えてみよう。

毎日報道されている交通事故を他人ごととして聞き流されない、自分自身加害者の資格を持たれていくということです。

車に乗った時の優越感誰でも味わうものですが、それをすぐス

先づ自分に勝て 交通事故について 考えてみよう

スピードに結びつけるところに問題があります。

人に勝つより先づ己にということがありますが、車の運転の場合もこの言葉がピッタリ当てはまる先づ自分に勝てといいたい。

また自分自心に勝てないものは事故を越す確率が高いということです。

取締りがなからスピードを出して飛ばす。誰もみていないから踏切りの停止を怠る。これは既に己の心に負けて妥協した意志の弱いもののやることです。

また、運転のじようず、ヘタをすぐスピードと結びつける錯角をしているものが大半で、昨日は何処まで何軒で飛ばして何分で行ったと、得々としてしゃべっているのを見ると、腹の立つのと同時に、誰のために、何のために運転しているのか、あはれみさえおぼえる。もう一度よく考えなおしてみよう。

運転者のみなさん、車を運転するときは常に、俺は安全運転をしているんだという自負心をもとう、

それには確固たる信念が必要だ。そしてスピード違反をして追い越していく車に腹を立てず、馬鹿な奴がという勝者だけの予備と広い気持をもとう。それが交通事故防止になくてはならないものなのでもある。関係機関も交通法規の周知徹底もよいが、もう一歩運転者の精神面での指導に、何かよい方法がないか策を講ずることが、よりだいじだと思います。

次に歩行者としても法規を守ろう歩行者の大半が法規を無視して歩いている、左側の通行はしない。道路の斜横断をする。事故があってもあながち運転者ばかりを責められない場合が往々にしてある。統計的には六〇%近い数字が歩行者側にあるとしている。次にひとつ、これは歩行者の気のつかないこと。夜対面の車の前を横ぎるとき、ライトの光で中を横ぎる人は完全に運転者側から姿が消えてみえない場合がある。本人はライトに照らされているから運転者に見えるものかと思つて、悠々と歩いているがこれは一番危険なことです。それと左側を歩いている、対面どうしの車に追い越されている場合も、相手のライトで左側の人影がみえない場合があり、事故の原因になっております。左側通行を徹底するというのも、特に夜に大きく生きてくるのです。お互に事故がなくてこそ明るい生活が出来るものです。この際もう一度交通事故について、身近かに考えてみようではありませんか。

野ネズミ大発生のおそれがあります

今年、予察調査の結果、昭和十九年の大発生をした年によく似ておりますので、下草刈、防鼠溝の補修は申すまでもなく、薬剤の散布についても例年以上に完全実施されます様をお願いします。

野ネズミの被害を防ぐのに、予防法と駆除法がある。

予防法

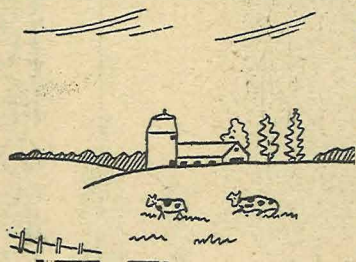
①地ごしらえの完全実施

カラマツ造林地の地ごしらえは全刈焼払を行ない倒木、根本等ネズミの巣になりやすいものを除き明るく清掃してやることです。

焼払をすると野ネズミの営巣を焼払い、野ネズミを焼死させ、亦他に追出してしまいます。

毎年造林地を見て歩きますと、

普及所だより



水稲 明年度の種籾については、今年の作柄だけに頼らず、安定性のある品種を選ぶべきである。種籾の脱穀は、四〇〇回転以下として、異品種及び梗と糯の混入がないように調整すること。

又、貯蔵に当っては、水分含量を十四％程度まで下げ、温度変化の少ない場所に貯蔵すること。

甜 菜

明年度の作付予定地は酸度検定を

ので、野ネズミの繁殖を助けることとなりますので、下刈は一年に二回の全刈を、三年から五年は続けることです。

③防鼠溝の設置

春四、五月と秋になると、野ネズミは餌を集めるために行動を開始します。造林地の周囲の中三〇㎝、深さ三〇㎝の溝を掘り、野ネズミを墜落させ侵入を防ぎます。

更に溝の中に二五種間かくで空罎（菓子罎、石油罎）の底を抜き穴を掘って入れて置くことが大事です。

防鼠溝は、火入れ地ごしらへをするに前掘ることによって、火入れの際の防火線の役割も果たします。

しほへをすることにもなりまして、野ネズミを全滅することにもなりまして、特に効果的です。

駆除法

①毒餌（薬剤）による駆除

野ネズミの被害は秋から翌年の

行ない、石灰投入量を算定して心土耕の折に、必要量を施用すること。又、来年度の移植ビート用床土は、今月中に準備をしておくこと。

は っ か

植付時期は十月中旬から十一月上旬で、種根量は一〇アール当り一五〇㎏を、畦巾五〇〜六〇㎝にして、三〇㎝間に三〜五本の株立になるように根付すること。

春にかけて多く現われるので、この時期に薬剤を配付しなければなりません。しかし実際には雪の中で配置するのは不可能なので、秋の終る頃から根雪になる直前に薬剤の配置をしなければなりません。

薬剤の配置方法は、野ツズミの住みやすいような処、たとえば根株倒木、枯損木、枝交、枯草、沢沿の処を重点的に配置することが大切です。また薬剤の配置回数は一回だけではなく、五日か一週間おきに前回の薬剤の有無をみて、三回〜五回配置すると効果的です。

一ヶ所の薬剤数は五、六粒位で良く、少い薬剤で最も効果的に実施しましょう。亦造林者の皆さんがバラバラにしないで、部落毎にか、地続き造林地毎にすると一層効果的です。

②天敵の保護

野ネズミを食べるヘビ、タカ、トビ、フクロウ、イタチ、キツネ、タヌキ等を保護して野ネズミを一匹でも多く捕除してもらいましょう。

又、種根には、根腐防止のためPCNB（ペンタゲン）剤を三㎏粉衣して、乾燥をしないうちに植付をすること。

馬鈴薯

種子用は萎縮病のないものを選び、貯蔵にあたっては、消石灰を種芋重の二％程度混入しておくこと腐敗が防止されます。

しあわせをみんなに
赤い羽根共同募金

10月1日から全国一斉に

今月は
町 道 民 税
固 定 資 産 税

10月25日までです

巡回無料診療が終了しました

受診者 四六六名

—— 佐呂間厚生病院 ——



巡回診療班と
診療風景



町民の健康管理のため、佐呂間厚生病院が行なった、町内巡回無料診療は予定通り日程を消化しましたが、期間中に四六六名の受診者があり予想以上の成果をあげました。

部落別受診者数

来倉間	26名
岩士里	24名
呂 武	27名
栄	47名
木佐間	32名
呂 知	47名
仁浜	30名
幌富若	94名
若佐	94名

466名

愛の献血をしよう

採血車ひまわり号 来町

「愛の血液助けあい運動」の月間
の昨月、献血車「ひまわり」号が

佐呂間に来ましたが、当日は佐呂間を始め、知来、仁倉、浜佐呂間等で採血を行ないましたが、全部で一二〇名のかたがたが二万数千CCの血液を献血しました。



本年の道内保存血液の必要量は三万数千リットル（ドラム缶約一八〇本）とみこまれております。
次回には一人でも多くのかたの献血をお願いします

今年もまた元気で

ようこそ

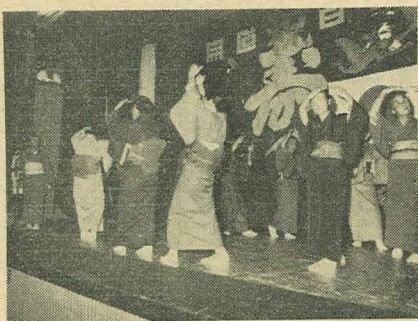
全町で 六〇〇余名

—— 老人の日 ——

「九月十五日」昨年から新たに設けられました敬老の日、町では全町の老人をそれぞれの地区で御招待して、楽しい行事でひとときを過ごしていただきました。

佐呂間会場では午前十時から、

公民館大講堂に一三〇名のかたがたが元気に集まり、婦人会の料理に舌つみをうちながら、踊やうたに、また飛入りに元気のよいと



若里	四四
富武	二七
浪速	五
幌岩	二二
浜佐呂間	五〇
仁倉	三三
知来	三五
佐呂間	一五四
合計	三六〇名

漁業統計調査に

十一月一日
ご協力下さい

10月14日 ~ 10月20日

行政相談週間

国や道への苦情をどうぞ

行政相談委員は
永代町の
伊藤太郎さん

予定納税の減額を

受けよう

— 北見税務署 —

造つてよい酒悪い酒

事業不振や休業業または災害等により予定納税額の減額を受けようとする方は次により「予定納税額の減額申請」を行って下さい

一、事業不振のため予定納税基準額の七〇%以下となったときや、医療費控除または扶養控除が増えた場合等は十一月十五日まで。

二、七月一日以後に風水害等災害にあわれた方は、その被害の状況により、いつでも災害減免法による軽減または免除の適用を受けることができます。

北見税務署では、ことしも十月中に「やみ酒をなくする運動」を実施することになりました。

やみ酒とは、家庭などで密造するどぶろくやぶどう酒などのほか密輸入酒なども含まれております

酒類の製造や販売は税務署長の許可がなければできないことになっており、免許のない人が酒に水以外の物を混和した場合は（カクテルなど飲む直前に混和する場合

警察だより

あき果を防ごう

昨年、道内で発生したあき果、忍び込み、居あきなどによる被害は一万六千二百八十三件にものぼりました。これは八十二軒に一件の割合で被害にあったことになりました。

家をあけるときは、わずかの時間でも必ず戸締まりするように心がけましょう。

カギは二つ以上

錠前は、ひとつだけではなく、

もうひとつ補助的な錠前をつけておくドローボーがこじあけるのに時間がかかり、防犯上たいへん効果があります。

カギはいつも手元に

かぎをかみい、新聞受けに隠して外出する人がいます。たいていの隠し場所は、ドローボーの方がよく知っています。カギは、必ず持って出かけるようにしましょう

わずかな時間でも必ずカギを、

「ちよっと買物に」 「ちよっと隣りまで」などと、わずかな時間の外出だからと、カギをかけずに出かける人があながい多いものです

あき果はこんなわずかのスキを

は除かれます。」新しい酒を造つたものとみなされて処罰の対象になります。しかし、梅酒のように自家製造を認められているものがあります。それはアルコール分二十度以上の酒類に砂糖と次の十三品目の果物などで混和してつくるものに限られております。

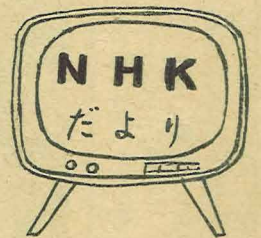
うめ、みかん（うんしゅうみかん、きしゅうみかん、なつみかんに限ります）、すもも（ぼたんきょうを含まず）、かりん、いちご、にんにく、くこ、しそ、くわ、まただび、さるなし、とち、ぐみ、これらは、自家用酒としてつくる場合にのみ認められているものですから売ったりしてはいけません。またこれ以外のもの、たとえばぶどう、りんごなどでつくった場合は自家用でも密造酒となり処罰されますからご注意ください。

ねらっています。たとえりつぱな錠前が備えてあっても、使わなければなんにもなりません。わずかな時間の外出でも、必ずカギをかけてでる習慣をつけましょう。

あき果は光や音に弱い戸や窓をあけたら鳴り出す防犯ベルや、隣近所を結ぶ連絡用防犯ベルはあき果を防ぐのにたいへん効果があります。

また、夜間は、門軒灯などで家のまわりを明るくするようにしましょう。

不幸にしてあき果の被害にあつたときは、必ず現場をそのままにして、すぐ警察に知らせましょう



十月は「みなさんとNHKを結ぶ月間」です

NHKでは、ことしも十月一日から、聴視者のかたがたとNHKとの結びつきを、一層深める運動を全国いっせいにくりひろげます。聴視者のひとりひとりのかたがたとの交流を、更に活発に進めるとともに、公正な放送を育てるためには、NHKの受信料制度がなによりも大きな力となっていることも理解していただくと考えています。

NHKでは「聴視者懇談会」や投書を通じて聴視者のかたがたの

ご要望やご意見をうかがうよう、つねつね努めておりますか、この月間中は特に、こうした催しを幅広く聞き、放送番組や経営の面にも反映させてゆくつもりです。

このため、北見放送局では、玄関ホールにカラーテレビ八台を設置し、オリンピックを美しいカラー放送でお楽しみいただくようにしています。

また番組写真、各種放送機器の展示のほか、北見市内幼稚園児の図画展示会も行ないます。

十月五日（土）午後五時から第一スタジオでFMステレオコンサート、の番組公開を行なうなど、多彩な行事を計画しております。この機会に是非あなたの放送局へおいで下さい。

テレビやラジオの調子が悪くてお困りのかたは

電話受信相談

T北見 四一八一へ

歩行者の安全を守ろう

秋の交通安全旬間

10月11日～10月20日

さけ ます 密漁

防止強調月間

10月1日～10月31日

優勝

置戸役場 (野 球)

端野役場 (ソフトボール)

役場職員野球大会終る

秋季常呂郡ブロック町村職員野球大会が九月二十九日、佐呂間公設グラウンドで行なわれました。

これは毎年春秋の二回、各町の回り番で行なわれており、先日当町で行なわれたものです。

当日は野球のほかソフトボールもあり、晴空のもと終始熱戦敢闘が繰りひろげられましたが、野球

では置戸町が、ソフトでは端野町がそれぞれ優勝しました。

野 球

置戸 6 - 2 佐呂間
端野 5 - 0 留辺蘂
置戸 3 - 2 訓子府

決 勝

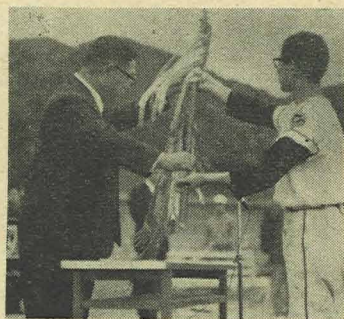
置戸 1 - 0 端野

ソフトボール

端野 9 - 3 置戸
佐呂間 2 - 1 訓子府
端野 9 - 3 留辺蘂

決 勝

端野 6 - 2 佐呂間



水灯吟社 (銀河、台風、菊)

銀漢や夜気水色に心澄む
台風雨避難の夜の握り飯
式典に日の丸と菊飾りけり

太 田 喜 堂

天を庄す銀河宇とし祭燃ゆ

沓き記憶の郷愁が欲する天狗面

鈴 木 孔

南風に銀河ざわめき台風警報

山車に舞う童女の顔は大人びて

豊穰の稲波に安けき祭かな

矢 口 斗 洋

露玉をうけてしっとり萩の花

小雨止みて中秋の月皎々と

力なき蠅も追はずに昼餉かな

橋 本 そよ風

晴天だつた秋祭り

夜店も例年の二倍

佐 呂 間 神 社 祭

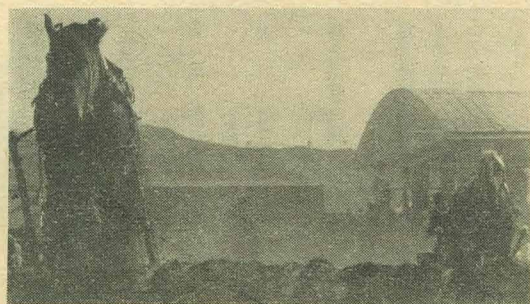
佐呂間神社の秋祭りは、九月二十四、五、六日行なわれましたが豊作と晴天に恵まれて部落からの入出も多く山車御輿の練り歩き、また夜店も例年の二倍近くもたち近年にない賑やかなお祭りでした。そのほか境内での踊り、弓道、角力、銃剣道、柔道、ばん馬競走等多さんの催しものもあり、秋の終日を愉しみました。

一〇月一日から

消費者米価が

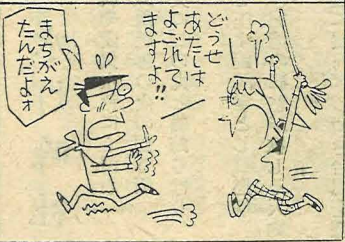
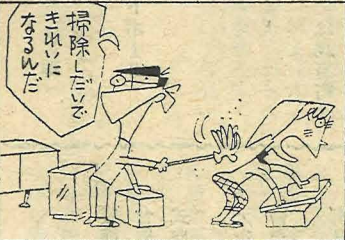
変りました

43年10月1日	42年10月1日
内地米 一、五一〇円(一二〇円)	一、三九〇円
徳用上米 一、二五〇円(七〇円)	一、二八〇円
徳用米 一、〇二五円(五五円)	九七〇円
業務用	
内地米 一、五一〇円十六〇	一、五七〇円
徳用上米 一、二五〇	十五〇
	一、三〇〇円

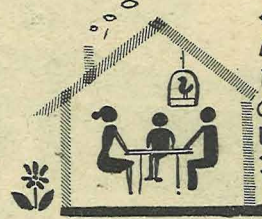


熱戦の鞍馬競争

道末一家



くらしのヒント



お互にご注意

タクシーに気持ちよく乗り、また乗せるための第一条件は、客と運転手との人間関係にあるようです。

客にきられる運転手、逆に運転手から敬遠される客は

敬遠される客

- ・行先をはっきりいわず、右、左と命令する人
- ・運転手にやたらにいはる人
- ・せかせる人
- ・酔っぱらっている人
- ・早朝から一万円札を出す人

◎きられる運転手

- ・乗車拒否、返事をしない
- ・口のきき方をしらない
- ・地理を知らない
- ・乱暴な運転をするなど

品物を買うときの心得

- 一、同じ用途のいろいろな種類の品物をその使用価値、耐久性、趣味嗜好等の点について比較研究しておきましょう。
 - 二、同種の品物について品質の良否を見分ける能力を養いましょう
 - 三、買う店の信用や特徴について研究しておきましょう。
 - 四、購入しようとする時、そのものが是非必要なものであるのか収入にふさわしいものなのか、手持ちの品で間に合わないのかなどもう一度よく反省してみましょう
- 又品質をよく吟味し、商標、レッテル、JISマーク、JASマーク、型式承認マークなどにも注意をしましょう。

寄附

社会福祉協議会へ

五千元也

亡父(作次郎)香典返しを廃して
幸町 吉野信忠殿

壹万円也

亡父(義一)香典返しを廃して
宮前町 高橋豊子殿

参万円也

二男(明弘)香典返しを廃して
永代町 加藤 秀殿

壹万円也

亡父(吉次郎)香典返しを廃して
富丘 湯浅 港殿

参千円也

お盆供養行事余剰金
富武士 浜観音溝
代表 中野仙治殿

五千元也

亡父(繁一)香典返しを廃して
若佐 佐々木竹子殿

壹万円也

亡父(与四郎)香典返しを廃して
富武士 高橋盛夫殿

五千元也

亡母(こま)香典返しを廃して
仁倉 津田幸雄殿

参千円也

二女(邦子)病氣全快祝を廃して
武士 中原景勇殿

壹万円也

亡父(市郎)香典返しを廃して
仁倉 大塚市雄殿

参千円也

亡父(藤作)香典返しを廃して
北 藤原栄太郎殿

佐呂間老人クラブへ

亡父(作次郎)香典返しを廃して
幸町 吉野信忠殿

佐呂間保育所へ

亡父(義一)香典返しを廃して
宮前町 高橋豊子殿

若佐老人クラブへ

亡父(嘉太郎)死亡
中園 香川幸雄殿

若佐公民館へ

卓球台一台

若佐商工青年部
若佐ダンス愛好会

乳幼児、妊産婦

一般健康相談日

佐呂間 毎月第一水曜日 (福祉会館)

若佐 毎月第一木曜日 (若佐公民館)

栄 毎月第一木曜日 (午後(栄公民館))

浜佐呂間 毎月第一金曜日 (浜佐呂間公民館)

毎月健康相談を行なっておりますので、よく日程をおぼえておいて御利用下さい。

編集室

広報の発行回数も一三三回を数えた。年十二回だから十一年以上にもなる。

この間、みなさんと町政を結ぶパイプの役割を果たして来ましたがこれからはみせる広報ということとで、少しでも写真を多くしたいと考えています。

広報について何かよいアイデアなどありましたら、どしどし御意見をお寄せ下さい。

秋晴れのよい天気が続きます。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋などいわれますが、なんでも出来る季節です。家族そろって健康づくりで冬に備えましょう。